

撥水性超耐候形特殊シリコン変性樹脂塗料

セラミガード[®] NEO

F★★★★

ホルムアルデヒド放散等級

撥水性を高め、
雨、凍害から建物を強固に保護！

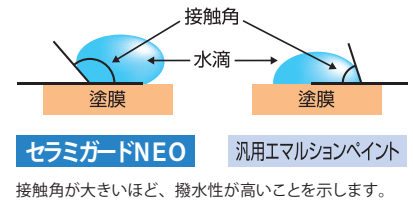
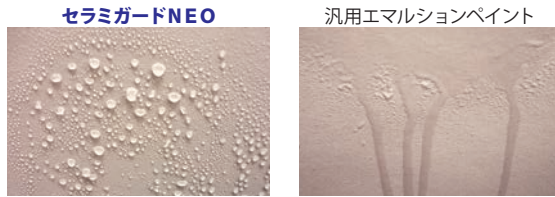
撥水塗料で塗り替えを!

セラミガードNEOは、光安定剤を複合化した特殊シリコン変性樹脂により、艶消し塗料の持つ落ち着きのある質感は内壁に発生する結露防止に役立ちます。

特長

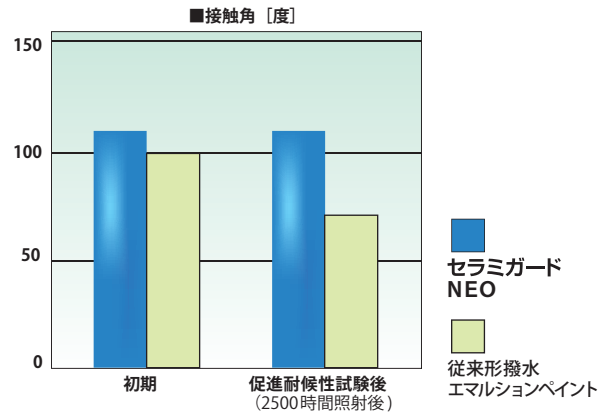
撥水性

光安定剤を複合化した特殊シリコン変性樹脂による撥水機能と高い持続力により、長期に亘り基材への雨水の浸入を防止し、水や凍害などによる壁面の劣化を抑制することができます。



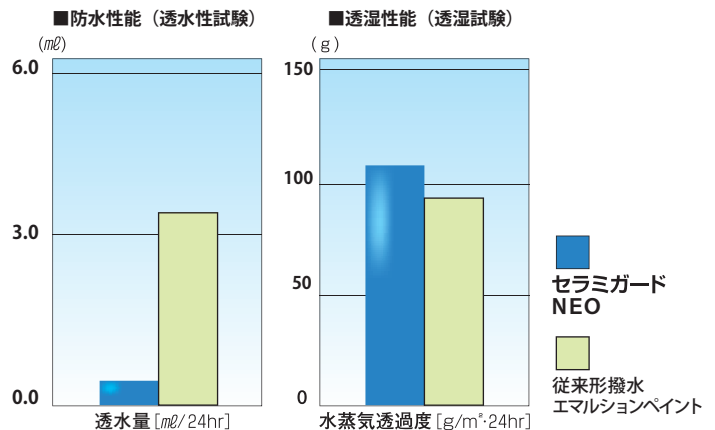
超耐候性

セラミガードNEOは、従来の撥水塗料とは異なり、光安定剤を複合化した特殊シリコン変性樹脂の採用により、塗装直後から撥水性を示し、長期に亘りその性能を維持します。

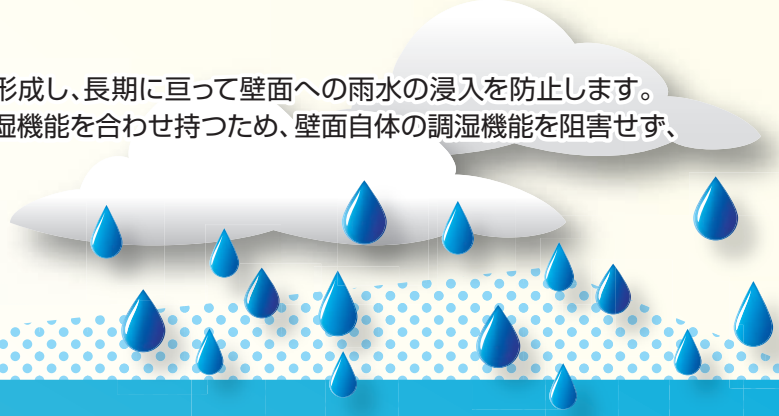


透湿性

透湿機能があるため、下地の調湿機能を阻害すること無く、内部結露防止・凍害防止につながります。



シリコン変性樹脂の採用により、強靱で緻密な撥水保護膜を形成し、長期に亘って壁面への雨水の浸入を防止します。
そのままだに、水や凍害による壁面の劣化を防ぎます。また、透湿機能を合わせ持つため、壁面自体の調湿機能を阻害せず、



防かび 防藻性

特殊設計により、
長期に亘ってかびや藻などの微生物汚染を防ぎ、
衛生的な環境を維持します。

安全設計

水性であるため、
溶剤中毒や火災の心配もなく、作業環境の向上に役立ちます。
また、厚生労働省の指定13物質※を含有していません。

※2017年9月における指定物質

■ 性能試験成績表

JIS K 5663 1種(主として屋外用)に準じた物性試験

項目	結果	品質
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性	合格	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。
低温安定性(-5℃)	合格	変質してはならない。
乾燥時間	標準状態	合格 2時間以内
	5℃	合格 4時間以内
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
隠ぺい率%(白及び淡彩)	合格	93以上
耐水性	合格	水に96時間浸したとき異常がないものとする。
耐アルカリ性	合格	水酸化カルシウム飽和水溶液に48時間浸したとき異常がないものとする。
耐洗浄性	合格	500回の洗浄に耐えるものとする。
促進耐候性	合格	異常がない。
屋外暴露耐候性	合格	12ヶ月の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。

■ 用途

一般外壁、外構、基礎立上がり部

■ 適用下地

コンクリート、セメントモルタル、
各種サイディングボード、ALCパネル、
各種旧塗膜(活膜下地)：エマルジョンペイント、
リシン、吹付タイル(硬質)など

■ 荷姿

●水性ミラクシーラーエコ(クリアー・ホワイト)

15kg 石油缶
(標準塗坪：115~150㎡/缶)

●セラミガードNEO(艶消しのみ)

20kg 石油缶(標準塗坪：57~80㎡/缶)
4kg 缶(標準塗坪：11~16㎡/缶)

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

■ 標準施工仕様

● 外壁・平滑仕上げの場合

(23℃)

工程	材料名	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地 (下地) ※1	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							—
1	水性ミラクシーラーエコ (クリアー・ホワイト) ※2,4,5,6 下塗り	既調合	0.10~0.13	1	—	2以上	—	●ウールローラー ●刷毛 ●エアレススプレーガン 吐出量：600~1000mℓ/分 パターン幅：25~30cm
2	セラミガード NEO	100	0.25~0.30	2	2以上	—	24以上	●ウールローラー ●刷毛 ●エアレススプレーガン 吐出量：800~1000mℓ/分 パターン幅：25~30cm
	清 水	0~10	—					

- ※1. エフロレッセンス、レイタンス等はワイヤーブラシ、サンドペーパー等により十分に除去してください。また、ALC面、多孔質下地、粗面、脆弱下地、その他下地に問題がある場合には「カケンファイラー」または「ミラクファントKC-1000」などで下地調整を行ってください。尚、改裝工事にはミラクファント各種をご利用ください。
- ※2. 「水性ミラクシーラーエコ(クリアー・ホワイト)」の改裝時の所要量は「0.10~0.30 kg/m²」となります。
- ※3. 「セラミガードNEO」の改裝時の所要量は「0.25~0.35 kg/m²」となります。
- ※4. 下塗りに必ず指定の材料をご使用ください。下塗りにはこの他、溶剤タイプの「★ミラクシーラーES(15kg石油缶)」、弱溶剤タイプの「★一液マイルドシーラーES(14kg石油缶)」もご使用いただけます。
- ※5. 押出成形セメント板、GRC板、PC部材(軽量PCは除く)などには、下塗材として「★マイルドシーラーEPO(14kgセット)」をご使用ください。
- ※6. 「水性ミラクシーラーエコ」は、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けるとともに、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
- ※7. 「セラミガードNEO」の清水での希釈率は、スプレー塗り時で「5~10」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。
- ※8. 「セラミガードNEO」の希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。

■ 施工上の注意点

- 材料を一度に厚く塗り付けると、垂れ、ひび割れの発生につながる場合がありますので、規定の所要量及び塗り回数を厳守してください。特に凹凸下地(吹付けタイル、スタッコ)や入隅部位に塗装する際は、注意してください。
- 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠べい性を高めるため、予め隠べい性の良い共色を塗装してください。
- 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
- 被塗物の形状、膜厚や色目、塗り回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所を艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗表面に直接雨がつかないようにしてください。特に、立ち上がり部位へ塗装する際は、塗装付近の降雨、除雪による水たまりや積雪を除去してから塗装を行ってください。
- 降雨の状況や塗装部位の構造により塗膜が濡れ現象を呈する場合があります。
- 土壌に接触するよう立ち上がり部位では、直接土壌に接触しないよう施工してください。また、下地の汚れやほこり、ごみなどは、ブラッシングにより十分に洗浄し、下地の乾燥を十分に待ってから塗装してください。
- 塗装付近に樹木や花などの植物がある場合には、塗料の飛散を考慮し、予め養生を行ってから、塗装してください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 改裝工事に溶剤系の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- 防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- かびや藻が付着している場合は、SKK カビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすざ)や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 補修塗りの必要な場合がありますので、補修用塗料の控えを必ずおき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りと同じ仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合があります。
- 開隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの各営業所までお問い合わせください。
- 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗表面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗表面の養生を行ってください。
- 塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 水の溜まるような部位では、膨れ、剥離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、使用を避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

■ 危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤系の製品であるため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性液体のため、火気厳禁です。
 2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
 3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように、十分注意してください。
- ※ 屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

■ 施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引き渡しなどにおいて、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

